

令和5年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

栄区 上郷地区 活動報告

【推進テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」

～アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの充実

上郷地区

認定こども園 いのやま

横浜市立上郷小学校

【推進テーマ設定の理由】

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」

～アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの充実

園での生活の流れや小学校の学習活動などについての具体的な情報交換を重ね園と小学校で共有しながら、3年目も引き続き「園での経験を生かせるスタートカリキュラム」「入学を意識したアプローチカリキュラム」の作成を意識するものとした。

▶ R5 スタートカリキュラムふりかえり

【なだらかな接続の観点から】

- ・朝の支度後、遊んで（折り紙や自由帳など）待つことにしたのは園での生活の始まりとリンクしており、落ち着いたスタートに繋げることができた。
- ・「遊び」から徐々に「学習」が増えていく構成（時間割）はよかった。
- ・給食が始まるまでの数日は他学年より30分程度早く下校させることで、精神的にも体力的にも余裕が生まれた。また、ほかの学年と下校時刻が異なったことで、下校指導も余裕をもって行うことができた。

【3年目の取組計画】

続・顔の見える関係づくりを目指して

○園児と児童が名前を呼び合える関係づくり

- ・年間を通した活動グループの固定化
- ・園と小学校共通で取り組む遊びを設定 ~昔あそびを中心に
- ・交流回数が増設

○保育士・教員が気軽に連絡を取り合える関係づくり

- ・定期的な推進委員会の開催
- ・互いの行事の参観
- ・園児の普段の様子も参観
- ・連絡方法にメールなども利用

今年度はさらに、子どもたち同士が親しい関係を築くことで、交流に深まりをもたせることに主眼を置く

【今年度の活動の経過と今後の予定】

事業名	日時	内容
小学校給食参観	4月13日	・給食の様子を幼稚園教諭が参観
幼保小接続期研修会	4月20日	
第1回推進委員会	4月26日	・年間計画について ・事業目標の設定確認
小学校運動会	5月27日	・園の職員が参観
交流会①	6月20日	・児童、園児顔合わせ ・グループ作り
交流会②	7月13日	・児童、園児がいっしょに遊ぶ
幼稚園参観	7月下旬	・小学校職員が参観
幼保小連携研修会	7月25,26日	・こども青年局による研修に参加
幼稚園運動会	9月16日	・小学校職員が園の運動会を参観
第2回推進委員会	9月26日	・活動の進捗状況・調整・アプローチプランについて
交流会③	10月13日	・1年生の園への訪問交流
交流会④	11月17日	・1年生が年長児を招待し、いっしょに遊ぶ
幼稚園参観	12月1日	・小学校職員が園の発表会を参観
第3回推進委員会	12月25日	・活動の進捗状況・調整 ・アプローチプランとスタートカリキュラムの検討
交流会⑤	2月27日	・1年生が年長児に小学校を案内したり、いっしょに遊んだりする。(ブロック3園合同)
区教育交流事業報告会	2月19日	・区教育交流事業報告会で活動を報告
第4回推進委員会	3月18日	・年間振り返り ・次年度計画

交流会①

「こんにちは、よろしくね」

日時：6月20日 10:00～11:00

場所：上郷小学校 体育館・校庭

園と小学校でそれぞれ事前に2～3人ずつのグループを作り、小学校の体育館でドッキング。1年間一緒に活動するお友達として名前を伝え、あいさつを交わしました。

【グループで撮影した写真は、名前入りポスターにして、園と学校の双方教室に掲示】



その後、活動場所を校庭に移して「関所じゃんけんゲーム」をみんなで楽しみました。園児が帰るときには、1年生みんなで見送りました。



【成果】

- ・グルーピングをしたことで1年生に活動の枠組みが伝わり、この活動における年長者としての自覚が芽生えたように思える。
- ・年長から1年生になり、かかわり方や言葉かけなど、成長の様子がたくさん見えた。
- ・ルールのある遊びを取り入れたことで、個々の集団への関わり方なども見取ることができた。

交流会② 「なかよしになろう」

日時：7月13日 10:00~11:00
場所：上郷小学校 体育館・校庭

2回目の交流は、はじめにグループでトークタイムを設け、好きなものの話をしたり、自作のプレゼントを渡したりしていました。その後、1年生が計画した遊びをグループのみんなで楽しみました。



お互い顔と名前を覚え、「みんなで楽しめる遊び」「年長さんに喜んでもらえる遊び」を計画しました。やり方を優しく教えたり、「すごいね!」「上手だね!」と声をかけたりする姿も見られました。時間が足りないくらい一緒に遊びを楽しんでいました。



【成果】

- ・グループの子の名前を覚え、相手を意識した言葉かけや行動が多く見られ、安心して楽しんでいる姿があった。
- ・1年生自身が先を見通せることが安心につながり、意欲的に活動することができた。

交流会③ 中止

交流会④

「たのしんでね あきまつり」

日時：11月17日 10:00~11:00

場所：上郷小学校 体育館・生活科室
・各教室

1年生は生活科の学習「あきといっしょに」でたくさんの秋を見つけ、色々な遊びを楽しみました。『あきまつり』を開き、幼稚園のお友達を招待して一緒に遊ぼう！と決めてからは、「幼稚園の子たちはこの説明でわかるかなあ」「このルールの方が楽しんでもらえるんじゃない？」「せっかくだから景品も作ってあげようよ」と『楽しませてあげよう』『喜んでもらおう』と工夫を重ねる姿が随所に見られました。

当日はたくさんの笑顔と熱気と歓声があちこちから溢れていました。



すっかりなかよしになったグループのメンバーと一緒に、
様々な「お店」を回って遊びました。



学校ってなんだか
面白いな。お兄さん
やお姉さんは優
しいね。





【成果】

- ・小学生は相手意識しっかりもって活動することができた。喜んでもらうにはどうしたらよいか、という考えのもと、準備を進めて当日を迎えた。子どもたちはすっかり打ち解け合って、自然に話したり笑い合ったりする関係を築くことができていた。お互いの安心感も生まれていたように感じる。
- ・園児たちは小学生が様々に工夫して設定した遊びの場をいつまでも飽きることなく楽しみ、吸収していた。園に帰ってからの活動にすぐにも生かせそうな学びの様子が感じられた。
- ・何よりも継続して交流したことがそれぞれの子どもたちに大きな価値をもたらしていたと感じる。

交流会⑤

「しょうがっこうは、たのしいよ」 (仮)

日時：2月27日 10:00～11:00

場所：上郷小学校 体育館・校庭・各教室

最後の交流会は幼保小のブロックである3つの園（認定こども園 いのやま・ふあみりーさぽーと のあ・上郷いちい保育園）の年長児を招いて、1年生が小学校の中を案内したり、学校生活を紹介したりする活動を予定しています。

今まで交流してきた「なかよしグループ」以外の園児も加わることで1年生はより丁寧に年長児に接することでしょう。お互いに進級の喜びや期待が高まる活動になることを目指します。



〈全体を振り返って〉



【成果】

- ・ 3年目となる今年度は、取組テーマ「続・顔の見える関係づくりを目指して」を設定したことで、子ども目線での交流ができたように感じる。相手意識を強くもつことで1年生の子どもたちの主体性が増し、回を重ねるごとに、より温かみをもって接する姿や工夫する姿を見ることができた。園児たちにとっても顔と名前がわかる関係になったことは、小学校入学への不安を薄れさせることにつながったのではないかと感じる。
- ・ 推進委員会の場では園のアプローチプランを共有し、意識して子どもに声をかけることやスタートカリキュラムに反映できそうなことを具体的に話し合った。入学前にできるようになっておくことについても話し合い、そのために園で取り組むこと、学校で続けていくことの共通理解ができた。園児たちが普段行っている遊びや歌っている歌などを意識的に取り入れていくことで「やったことある！」というような安心につながるスタートカリキュラムを検討していく。

【今後に向けて】

- ・ 連携推進地区事業は終了となるが、今年度までの取組を通して得た成果をスタートカリキュラムとアプローチカリキュラムに反映させ、今後も「子どもの育ちと学びをつなぐ」連携がより充実していくことを目指したい。